



呉中央小学校 PTCA 新聞

育て！ゆめの木 vol.57

編集・発行／広報部



クリスマス絵本会



12月8日(木)にこぐまちゃん絵本会主催の『クリスマス絵本会』がクリスマスの飾りつけされた音楽室で開催されました。

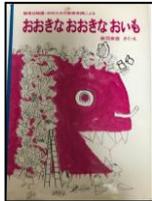
最初の絵本『ゆうたはともだち』では、ページをめくるたび、面白い一言一言に子ども達は大笑い!! どの絵本も役になりきった絵本会のみなさんの朗読に加え、いいタイミングに面白い効果音を挟みながらの読み聞かせ、手作りの道具を使った演出にみんなどんどん絵本の世界に引き込まれていきました。ピコ太郎の歌をうたったり、サプライズでサンタクロースが登場したりと大盛り上がりでした。絵本会のみなさんの子ども達に喜んでもらいたいという思いがいっぱい込められた素晴らしい会でした。



『一年生も二年生もとても楽しそうに聞いてくれて、嬉しかったです。私たちも楽しく過ごせました。お家でひとりひとりのお母さんが子ども達に読み聞かせている読み方で、絵本の世界に入っていけたらよいなと思っています。』

(絵本会 部長さんより)

絵本会からオススメ本の紹介



「おおきなおおきなおいも」
作:赤羽末吉

楽しみにしていた芋掘り遠足が雨で延期に…。そこでみんなで描き始めたお芋の絵がどんどん大きくなって…！親子で読んでほしい1冊です。



「けいていー」
作:バージニア・リー・パートン

ストーリーもですが、イラストがとても素敵な絵本です。隅々まで見てみると、とても時間がかかるほど細やかなイラストなので、何度読んでも楽しめます。



「このゆきだるま だーれ?」
文:岸田衞子 絵:山脇百合子

もみちゃんが動物たちとそり遊びをするお話です。雪や、それぞれの動物に対する擬態語の使い方がとてもかわいらしく、音の響きを味わえる絵本です。



「もったいないばあさん」
作:真珠まりこ

もったいないってどんなこと? 子ども達と読みながら大人も振り返ってしまいます。自然の恵みに親子で笑いながら感じてみましょうね。



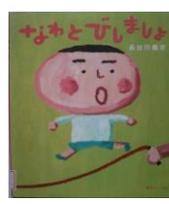
「鬼のサラリーマン」
文:富安陽子 絵:大島妙子

地獄に勤めているサラリーマンの鬼が主役。衝撃のオチは、なんとあの有名な芥川作品のパクリ!! これを読んだ後に、蜘蛛の糸を読んであげたら面白いね。



「100円たんけん」
文:中川ひろたか 絵:岡本よしろう

ものの価値やお金の大事さを知る本です。お年玉の使い方がかわっちゃうかも??



「なわとびしましよ」
作:長谷川義史

冬になると子ども達がなわとびをする姿がちらほら。でも、子どもだけではありませんよ。あんな人やこんな人が…。最後になわを踏んじゅうのは誰かな?



「おにのパンツ」
作:鈴木博子

幼稚園や保育園での豆まきで一度は歌ったことがあると思うわらべうたが絵本になりました。子ども達に教えてもらって一緒に歌って踊ってくださいね。

